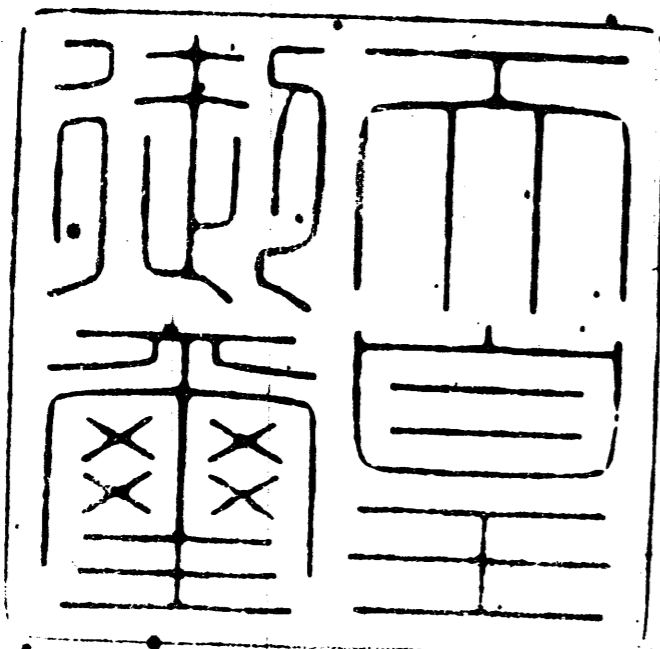


條約第二十號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十六年十二月二十一日
バンコックニ於テ帝國特命全權大使ガタイ國代表者ト共ニ
署名調印シタル日本國「タイ」國間同盟條約ヲ茲ニ公布セシム

裕仁



昭和十六年十二月二十七日

内閣總理大臣兼
陸軍大臣 東條英機
海軍大臣 山本五十六
外務大臣 東郷茂徳

條約第二十號

日本國「タイ」國間同盟條約

大日本帝國政府及「タイ」王國政府ハ東亞ニ於ケル新秩序ノ建設ガ東亞興隆ノ唯一ノ方途ニシテ且世
界平和ノ恢復及増進ノ絕對要件タルコトヲ確信シ之ガ障礙ト爲レル一切ノ禍根ヲ芟除根絶スルノ確乎
不動ノ決意ヲ以テ本ノ通協定セリ

第一條

日本國及「タイ」國ハ相互ノ獨立及主權ノ尊重ノ基礎ニ於テ兩國間ニ同盟ヲ設定ス

第二條

日本國又ハ「タイ」國ト一又ハ二以上ノ第三國トノ間ニ武力紛争發生スルトキハ「タイ」國又ハ日本
國ハ直ニ其ノ同盟國トシテ他方ノ國ニ加擔シ有ラユル政治的、經濟的及軍事的方法ニ依リ之ヲ支援ス
ベシ

第三條

第二條ノ實施細目ハ日本國及「タイ」國ノ權限アル官憲間ニ協議決定セラルベシ

第四條

日本國及「タイ」國ハ共同シテ遂行セラルル戦争ノ場合ニ於テハ相互ノ完全ナル了解ニ依ルニ非ザレ

以休戰又ハ講和ヲ爲サザルベキトヲ約ス

第五條

本條約ハ署名ト同時ニ實施セラルベク且十年間有效トス締約國ハ右期間満了前適當ナル時期ニ於テ本條約ノ更新ニ關シ協議スベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和十六年十二月二十日即チ佛曆一千九百八十四年十二月二十日「バンコック」ニ於テ本書ニ通テ作成ス

特命全權大使 坪上貞二 (印)
總理大臣 兼 外務大臣 齋藤 隆 (印)